

# 戦 評 用 紙

県民総合体育大会 兼 埼玉県高等学校バスケットボール新人大会

平成31年1月20日

会 場 上尾市運動公園体育館

決勝リーグ Cコート 第1

試合

	21 _____ 16	
対 戦	16 _____ 10	
埼玉栄高校		市立川越高校
	17 _____ 19	
84		63
	30 _____ 18	

第1P 両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタート。序盤、どちらも決め手がないまま時間が過ぎる。市立は#14がゴール下で連続シュート。栄は#1がミドルで対抗。6分過ぎ、栄は高さのある#14を投入し、直後にゴール下ターンシュートを決める。栄の#3が3Pを決めたところで、市立TO。明けて栄は2-2-1ゾーンプレスから2-1-2ゾーン。市立は粘ってディフェンスのファールを誘い、フリースローで得点する。21-16 栄リードでこのピリオドを終える。

第2P 市立ボールでスタート。栄は3/4からオールコートでプレッシャーをかける。ボールを奪われ、シュートファールを犯したところで、市立TO。フリースローを決めると栄は再び高い位置からプレスをかける。栄は高さのある#2にボールを集め、市立は#14が何とかつなぐ。6分過ぎ、栄は#2が4つ目のファール。代わりに#14を投入。栄は市立の不用意なスローインを奪い、#5がレイアップを決めるが、市立も#4が栄のプレッシャーをかいくぐってレイアップ。点差一桁で離されない。

第3P 栄はゾーンプレス・ゾーン。栄#3が3Pを決めれば、市立#5が連続3P。続けて市立#4がベースラインからミドルシュートを決め、6点差に詰め寄る。栄は#8がミドルを決め、流れを渡さない。

第4P 栄は#2をコートに戻す。2分過ぎ、栄は#8がフリースローを3本とも決める。栄はオールコートでプレッシャーをかける。市立TOを請求。市立は#14、#6が連続得点。栄も#3が3P、#2がゴール下で得点。ここで市立が再びTO。栄は#14を投入し、高さが増す。市立は#14が最後まで得点を重ねるが、栄は#8、#0が3P。市立は良く粘ったが、埼玉栄が84-63で市立川越を下した。

(記録者： 強 瀬 篤 )